

春日井市の魅力とあなたがつながる

春日井市紹介本

*Kasugai*

かすがいでつながる



# かすがいでつながる

人口約30万人の都市でありながら、緑豊かな自然もある春日井市。  
 さまざまな住まい方(ライフスタイル)が実現できるまちです。  
 特に力を入れているのが子育てを行う環境づくり。  
 「子はかすがい、子育ては春日井」宣言を行い、  
 子育て支援や子どもの遊び場・公園が充実しています。  
 さらに、文化、スポーツ、文化財、生涯学習など、  
 全ての世代の方々が楽しむことができ、人とつながることができます。  
 そんな春日井(銚※)で「つながる」さまざまな魅力を紹介します。

子どもの遊び場	P4
子育て・教育	P6
公園	P8
書	P10
サボテン	P12
スポーツ	P14
文化財	P16
自然	P17
生涯学習	P18
鉄道駅	P19
高蔵寺ニュータウン	P20
市長あいさつ・年表	P22

(※)2つの材木をつなぎとめるために打ち込む「コ」の字型の釘



アクセスのよさが魅力です。  
 車、電車、飛行機。どの交通手段を使っても移動に便利な春日井市。  
 通勤や通学、旅行など、どこへ行くにも便利です。

## 車

一般道路も高速道路も  
交通網が充実

名古屋や多治見などの近隣への移動は、国道19号や155号を中心に便利な一般道路網が充実。遠方への移動は、東名高速道路や名古屋第二環状自動車道でスムーズです。

## 飛行機

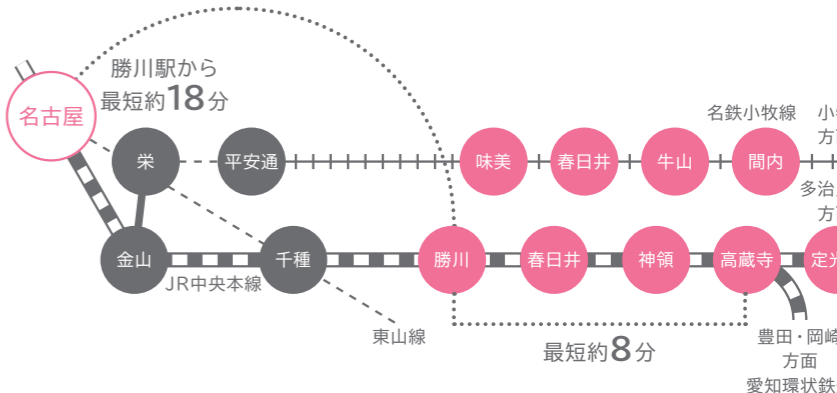
全国9都市へ運航中  
旅行やビジネスに便利

春日井市の西部にある県営名古屋空港。フジドリームエアラインズ(FDA)便があり、札幌、青森、花巻、山形、新潟、出雲、高知、福岡、熊本の全国9都市へ運航中です。

## 電車

名古屋や豊田方面への移動に便利  
名古屋まで乗り換えなし

JR勝川駅からJR名古屋駅までは、快速電車で最短18分。名鉄小牧線は、名古屋市営地下鉄平安通駅まで直行しています。JR高蔵寺駅には愛知環状鉄道が結節し、豊田方面への移動も便利です。



## ぐりんぐりん

### 子どものための屋内遊び場

グリーンパレス春日井の2階にある屋内遊び場。季節や天候に関係なく、乳児から小学生までが年齢区分に応じた4つのエリアで遊べます。発達を促す遊び場のデザインや発達段階に沿った遊び環境を提案するポーネルド社の遊具や玩具を設置しています。

所在地 東野町字落合池1番地2



## グルッポふじとう

### 小学校が遊び場に変身!

旧藤山台東小学校をリノベーションした多世代交流拠点施設。児童館には赤ちゃんの部屋、幼児の部屋など年齢別に部屋が分かれているため、安心して遊べます。親子教室など親子で楽しめるイベントも充実。図書館やコミュニティカフェも併設しているので便利です。

所在地 藤山台1丁目1番地



## グリーンピア春日井

### 大きなアスレチック遊具で遊ぼう



所在地 細野町3249番地1

四季の変化が楽しめる自然いっぱいの植物園。芝生広場には大型のアスレチック遊具があり、ピクニックにおすすめ。動物ふれあい広場では、子どもたちに大人気のヒツジやポニーが待っています。大久手池ではサイクルポートも楽しめます。



## あい農パーク春日井

### 気軽に「農」を楽しもう



所在地 西尾町字西番場6番地50

野菜の収穫や育て方の講座などを通じて気軽に農にふれあえる施設。自然豊かな景色に囲まれる中、収穫した野菜を使ってバーベキューをしたり、複合遊具や芝生で遊んだりすることができます。子どもたちも大喜びです。



## 子はかすがい、子育ては春日井 多様な遊び場は「暮らしやすさ」の象徴

「子はかすがい、子育ては春日井」宣言を行っている春日井市は、P8～9で紹介する「公園」と併せて多様な遊び場があります。ここで取り上げている「子どもの遊び場」は子どもたちの健やかな成長に寄与することはもちろん、親や家族と一緒に楽しむことができるため、親子や家族の絆をつなぐ「かすがい

(鏝)」にもなっています。

天候に関係なく遊べる屋内の遊び場、思い切り体が動かせる芝生広場やアスレチック遊具、緑豊かな植物園、動物との触れ合い広場、食の大切さ・楽しさが分かるバーベキューや農業公園など、魅力的な遊び場が多種多様に揃っています。

誰もが楽しめる!

# 子どもの遊び場

親子をはじめ誰もが楽しめる魅力的な遊び場がたくさんあります。家族みんなで出かけてみませんか。

# 子育て・教育

乳児～幼児期

## 子育てサポートキャラバン隊



子育てのことなら  
なんでも相談を

子育て支援サロンを出前します

おもちゃや絵本を車に積み、お住まいの地域へ。就園前の乳幼児とその保護者向けに、子育て支援サロンや相談会を実施しています。

乳児～幼児期

## 保育の安心



共働き家庭も  
安心して暮らせるまさら

充実のサービスで保育ニーズに対応

多様化する保育ニーズに対応するため、園整備を進めつつ、「延長保育」や「特別支援保育」の実施園を増やしています。



新生児から大学生まで  
全てのライフステージを支援

## 子はかすがい、子育ては春日井

妊婦はもちろん、新生児、乳幼児から高校生、大学生まで全てのライフステージに対応する子育て支援や教育環境があり、保育園は2011年(平成23年)から待機児童ゼロを更新中です。

市内には市立保育園29園、市立小学校38校、市立中学校16校、高校8校、総合大学1校があり、私立の保育園、幼稚園を含め豊富な施設が揃っています。

子育てをするなら春日井で。  
「子はかすがい、子育ては春日井」にふさわしい先進的な子育て支援制度や教育の取り組みを紹介します。

小学生

## 放課後の子どもの居場所



共働き家庭の児童をサポート

放課後児童クラブは、就労などの理由で昼間家庭に保護者がいない小学生を対象に、放課後の適切な遊びや生活の場を提供しています。

小中学生

## ICTを活用した学び



教育現場のデジタル化を促進

全市立小中学校に高速大容量通信対応の校内LANを整備し、学が意欲と学力向上のため、全児童生徒の一人一台端末にAI型学習教材を導入しています。

## 医療費負担をゼロに



24歳までの医療費を助成

18歳到達後の年度末まで、入院・通院費の自己負担分を助成。医療費は実質無償に。大学等に通う学生は、24歳の年度末まで入院費の助成をしています。

妊娠～乳児期

## 妊婦訪問・新生児訪問



助産師・保健師があなたの家庭へ

助産師や保健師が家庭を訪問し、妊娠中の生活や出産・育児についての相談に応じます。新生児訪問では、身体測定や授乳の相談もできます。

妊娠～乳児期

## 妊産婦ケア (さんさんルーム)



一人で悩む前に、まずは相談を

疲れた時や育児が辛い時に休養や相談(授乳、栄養、育児、心の相談など)ができる場所。1日ゆっくりと過ごせます。要予約。利用料：1回1,000円

所在地 鷹来町1丁目1番地1(総合保健医療センター3階)

## 高校が市内に8校



県立7校(春日井、南、西、東、工科、高蔵寺、泉(商業が名称変更))、私立1校(中部大学春日丘)があり、選択肢が豊富です。

## 特色ある高校生の活動



春日井泉高等学校では、地元企業の講義を受けたり、地元店舗と共同による商品開発や販売実習を行っています。

## 中部大学



広大なキャンパス内に8学部27学科4専攻が集まる幅広い領域をカバーする総合大学。約1万人の学生が在籍しています。

# 公園

市内にある公園は愛知県内トップクラスの約500か所。多くの市民にとつての憩いの場となっています。市の花「なぐら」の名所となっている公園も多くあります。

## 朝宮公園

### サボテンを模した遊具はここだけ

遊具広場にあるのは、サボテンをモチーフにした大型複合遊具。子どもたちの成長に合わせて利用できるよう、児童向け、幼児向け、乳幼児向けの3種類があり、いつも子どもたちの笑顔と歓声であふれています。そのすぐそばには噴水が。夏には水遊びを楽しむことができます。

所在地 朝宮町4丁目1番地2



高さ12mのサボテンタワー  
攻略できるかな!?

## 大きな池と広大な芝生広場 日本最大級の「フォリー・水の塔」



## 落合公園

### 緑豊かな美しい景観が自慢

「日本の都市公園100選」のひとつに選ばれている景観の美しい公園です。約24.9haの広大な園内には、釣りの楽しめる大きな池や、のんびり寝転んだり遊んだりすることのできる大芝生広場、日本最大級の「フォリー・水の塔」があります。桜の名所として知られ、春には約1,000本の桜が開花し、大勢の人でにぎわいます。

所在地 東野町字落合池1番地



桜

体育館

納涼まつり



## グリーンピア春日井

### 四季の植物に触れられる自然の宝庫

緑豊かな山々に囲まれた植物園。園内の至るところで四季折々の植物を楽しむことができます。動物ふれあい広場やポート池など、子どもが楽しめる施設も充実。寄せ植えなどの講習会やコンサートイベントなども随時開催しています。家族や友人らと出掛けるにはぴったりの場所です。

所在地 細野町3249番地1



四季折々の花が  
美しく咲き誇る

グリーンピア  
春日井では  
動物とも  
触れ合えるよ!

## 二子山公園

### 埴輪が見られる歴史公園

国指定史跡の二子山古墳など3つの古墳に囲まれた歴史公園。芝生広場には小川が流れ、子どもたちの冒険心をくすぐります。木々に囲まれた広場は、かくれんぼや鬼ごっこにぴったり。園の中央にあるハニワの館では、二子山古墳から出土した埴輪が展示されています。

所在地 二子町2丁目11番地1



古墳をイメージした  
遊具やモニュメント

## ふれあい緑道

### 落合公園と朝宮公園を緑で繋ぐ

市内を流れる八田川と生地川沿いにある四つの公園(二子山公園、朝宮公園、落合公園、潮見坂平和公園)を緑道で結ぶ、全長8kmに及ぶ緑のネットワーク。さまざまな木々が立ち並び、所々にユニークなハニワが設置されている緑道は、ジョギングやウォーキングコースとして人気です。

所在地 六軒屋町ほか21町



緑いっぱい  
川沿いの小道

### 書道パフォーマンス



観客の心を揺るがせる  
匠の心揺るがせる  
庄巻のパフォーマンス

春日井まつりでは、愛知県内外の高校や大学の書道部などが、パフォーマンスや作品の出来ばえを競い合う「Kasugai ザ 道風」を開催。このほか、「書のまち春日井」の魅力を知ってもらうため、市内外のイベントで市内高校書道部がパフォーマンスを披露しています。

### わ〜く書っぴ



学校の授業とはひと味違う  
書の新たな魅力を発見!

書家を地域へ派遣

書の面白さを体感してもらうため、市内外で活躍する書家を地域に派遣しています。“お習字”や学校の授業では味わえない書の魅力や奥深さに触れ、「楽しかった」「新しい発見があった」といった声が参加者から上がっています。

書を身近に感じてみよう!



平安時代の三跡の一人・小野道風の誕生伝説が残る書道の盛んな土地柄。「書のまち春日井」を合言葉に書道文化の振興に努めています。秋の風物詩・春日井まつりでは「道風平安朝行列」が行われます。

作品数は2,700点  
「書」を直に感じ奥深さを知る



### 道風記念館

#### 書専門の珍しい美術館

小野道風が書いたとされる平安時代の古筆から、現在活躍中の書家の作品まで、約2,700点を収蔵。展覧会などを通じて、書を鑑賞する楽しさを伝えています。

所在地  
松戸町5丁目  
9番地3

平安時代の能書として知られる小野道風(894~966)は、現在の春日井市で誕生したと伝えられています。



### 書道科の導入

#### 「書のまち」ならではの取り組み

幼い頃から筆に親しんでもらうことを目的に、市立小学校では全学年で書道の授業を実施。「とうふうさんのように字がうまく書けるように」と小学1年生も筆を持ちます。全国的にも珍しい「書のまち春日井」の独自の取り組みです。



筆に親しむ  
心を育む

### 道風展

#### 伝統ある若手書家の登竜門

1949年(昭和24年)に始まった全国公募の書道展。未就学児から一般まで、幅広い年代の方から寄せられた力作が展示されます。伝統や古典を学びつつ、道風の進取の気風を受け継いだ新しい書を生み出すことをめざしています。



### 書道を気軽に体験できる さまざまなイベントを随時開催

文化フォーラム春日井や市内の各商業施設などで、誰もが気軽に書道を体験できるイベントを、1年を通じて開催しています。

1月に行われるのは、オリジナルカレンダー作り。筆で好きな文字を書き入れ、世界に一つだけのカレンダーを完成させます。

夏休みには、道風記念館で子ども向け企画

展「おののとうふう」を開催。対象学年に合わせて、ワークショップも行っています。

秋には、親子向けのイベントを文化フォーラム春日井で実施。書をはじめとする伝統的な文化を学び、体験できます。

そのほか、春日井まつりなどのイベントでも書に触れる機会を提供しています。



## 「食べる」サボテン



食糧危機を救う!?  
世界が注目する食材!

爽やかな酸味とネバネバ感が後を引く  
食べて美味しい体にうれしい健康食材

食用のウチワサボテンは、野菜と果物の栄養素を合わせ持つ万能食材。生活習慣病予防やダイエット効果が期待できます。味わいはさっぱり爽やか。オクラのような粘りのある食感が特徴です。2007年(平成19年)から、学校給食に食用サボテンを用いた献立が提供されています。

## 「観る」サボテン



品種はなんと250種以上  
個性豊かな姿に癒されて

花言葉は「枯れない愛」  
育てやすく部屋のインテリアにぴったり

小さく可愛いものから、大きく勇ましいものまで、観賞用サボテンは色も形も個性的。見る人を飽きさせません。花言葉は「枯れない愛」。初心者でも育てやすく長く楽しめるので、インテリアにもぴったりです。鉢植えを窓辺や卓上に、飾ってみてはいかがでしょうか。



日本有数の生産量を誇る  
サボテンのまち

### 国内有数の実生サボテン生産地

春日井市のサボテン栽培は、1953年(昭和28年)頃、果樹栽培の副業として始まりました。その後、1959年(昭和34年)に伊勢湾台風が発生。一帯の果樹が大きな被害を受け、サボテンの被害は少なく済みました。そこでサボテン栽培に移行する農家が増え、市内へ広く普及することに。やがて国内有数のサボテン生産地へと発展しました。

春日井のサボテンの特徴は、種から育てる「実生(みしょう)栽培」に特化していること。手間のかかる難しい生産方法ですが、温室の構造を工夫するなどの試行錯誤を繰り返し、根気よく種をまき続けた結果、独自のスタイルを確立し、今日に至っています。

今から70年ほど前に始まった春日井市のサボテン栽培。観賞用のみならず、食用、美容にと、さまざまな魅力を秘めています。春日井市ではその魅力を市内外に広く発信しています。

## 「親しむ」サボテン



サボテンの新たな魅力を発見!  
市内各所で  
関連イベントを開催中

サボテンの魅力をたくさんの人に知ってもらうため、さまざまなイベントを開催中。サボテンフェアでは、苗や寄せ植え、グルメなどサボテン尽くしの1日が楽しめます。また、市内各所でサボテンの寄せ植え体験などのPRイベントを開催しています。



みんなで踊ろう!  
サボテンダンス♪



ダンスミュージックや絵本を制作  
各種コンテンツで  
「サボテンのまち」をPR

PRコンテンツを制作し、「サボテンのまち」の情報発信にも力を入れています。『かすがいサボテンピース』はみんなで歌って踊れる楽しいサボテンダンスミュージック。春日井サボテンの誕生秘話を描いた絵本『かすがいサボテンのおはなし』も好評です。

春日井  
サボテン

## 朝宮公園

東海4県初の投てき競技対応型人工芝

「スポーレ」とは、「スポーツ」と古代ギリシア語で「森」を意味する「ヒューレー」を組み合わせた造語。公募により決定しました。1周400m×8レーンの全天候型フルウレタン舗装トラック、人工芝フィールド、ナイター設備などを備えた東尾張地区初の第3種公認陸上競技場です。

所在地 朝宮町4丁目1番地2



スポーレ春日井(朝宮公園陸上競技場)

ウォーミングアップにも活用できるサブグラウンドも完備

## 総合体育館

高校生剣士が憧れる「剣道の聖地」



みんなで楽しくレッツスポーツ!



全国大会も開催される屋内スポーツの拠点!

約5,000人を収容できる第1競技場をはじめ、柔剣道場、フィットネスルーム、卓球場、弓道場、相撲場などを完備し、多くの種目に対応できる体育館です。各種健康運動教室を開催しており、スポーツやレクリエーションを気軽に楽しむことができます。

所在地 鷹来町4196番地3

## サンフロッグ春日井

日本水泳連盟が公認する競技用50mプール



競技、レジャー両方を楽しめる温水プール

県内有数の50m公認プールをはじめ、25mプールや流水プールのほかに、年中楽しめるウォータースライダーを完備。トレーニング室も有する充実したスポーツ施設です。元オリンピック選手による教室など、さまざまな教室や講座を随時実施しています。

所在地 南下原町2丁目4番地11



スポーツが気軽に楽しめる施設や環境が充実

楽しいレクリエーションから本格競技まで  
思う存分にスポーツを!

文化やスポーツは、心豊かな生活や生きがいづくり、健康づくりに必要なものであるとともに、地域に対する愛着や誇りを育て、地域コミュニティの構成に大きな役割を果たすとの考えのもと、2017年(平成29年)に「文化・スポーツ都市」宣言を行いました。子どもから高齢者まで、多くの人々がいつ

でもスポーツに取り組むことができるよう、さまざまなスポーツ施設を取り揃えています。また、一人でもチャレンジすることができる教室や、家族や友人と一緒に参加することができるマラソン大会などスポーツイベントもたくさん開催しています。さあ、春日井でスポーツを楽しみましょう!

いい汗を流そう!

# スポーツ

2021年(令和3年)にオープンしたスポーレ春日井をはじめ、春日井市には多くのスポーツ関連施設があります。身近な施設でスポーツに親しみ、いい汗を流してみませんか。





山頂からの眺めは最高  
一見の価値あり!

### 春日井三山

気軽に登山が楽しめる  
人気スポット

市東部に連なるようにそびえる弥勒山(みろくさん)、道樹山(どうずさん)、大谷山(おおたにやま)からなる三つの山は「春日井三山」と呼ばれています。都市近郊にありながら気軽にハイキングを楽しむことができるスポットとして、家族連れにも人気です。

ふもとから約1時間で登れる弥勒山山頂には展望台が。名古屋駅前の高層ビル群など眼下に広がる濃尾平野の素晴らしい眺めは登山の疲れを癒してくれます。複数のコースがあり、山のさまざまな表情を見ながら登山が楽しめるのも魅力の一つ。また、三山の尾根をつなぐ東海自然歩道を縦走するのも三山ならではの楽しみ方です。豊かな自然を感じに出かけてみてはいかがでしょうか。



# 自然

春日井三山、東海自然歩道、愛岐トンネル群などがある東部丘陵エリアは、都市近郊にありながら自然を体感できる人気の観光スポット。市内はもちろん、市外からも多くの方が訪れています。

### 愛岐トンネル群

明治期建造の  
14か所のトンネル

1900年(明治33年)、愛知・岐阜県境の高蔵寺~多治見間に計14か所のトンネルが建造されました。戦後、廃線となりましたが、明治期の貴重な産業遺産として、2016年(平成28年)にその一部が国の登録有形文化財に認定されました。現在は、「日本3大廃線トンネル群」の1つとして、春と秋の特別公開時に入場できるほか、夏にはトンネルの涼を楽しむことができる「森のビアホール」が開催されています。



赤煉瓦のトンネルと  
自然が織りなす絶景



# 文化財



埴輪や土器が出土した  
貴重な歴史遺産

### 二子山古墳

市内最大規模の前方後円墳

6世紀前半に築造された墳長9.4m、盾形の周溝を含む全長116mの前方後円墳。1992年(平成4年)の発掘調査で、溝から埴輪や土器(須恵器・土師器)が大量に出土しました。埴輪や須恵器は、東山町の「下原古窯跡群」で製作されたと考えられており、生産地と供給地が明らかな貴重な事例です。

所在地 二子町2丁目11番地5・6



### 密蔵院多宝塔



大木へ反り上がった  
独特な屋根に注目

室町時代の姿を今に残す  
多宝塔の傑作の一つ

今から約700年前の1328年(嘉暦3年)に、慈妙上人によって開山された天台宗の寺院です。室町時代に建立された多宝塔は、禅宗様式を取り入れた勇壮な姿が特徴的。国の重要文化財に指定されています。

所在地 熊野町3133番地

### 内々神社



名工の建てた社殿や  
美しい庭園が見どころ

日本武尊の伝説が残る  
由緒ある神社

平安時代の「延喜式」に名前の載る、由緒ある神社。社殿は江戸時代後期に諏訪の名工・立川一族によって建立され、迫力ある彫刻が見どころ。自然の岩や斜面を巧みに取り入れた美しい庭園も楽しめます。

所在地 内津町24番地

旧石器時代から近世まで200か所超の遺跡が確認されている春日井市。貴重な文化財を現代に生かし、後世へと伝えていくため、埋蔵文化財、民俗・歴史資料などの調査・収集・保存を行っています。

### JR勝川駅



商店街をはじめ  
生活利便施設が充実

名古屋までわずか18分！  
通勤・通学に便利な西の玄関口

JR名古屋駅まで快速電車で約18分。名古屋への移動に最も利便性が高い駅です。駅舎がリニューアルされて、さらに利用しやすくなったほか、駅周辺にはホテルプラザ勝川やスーパーマーケット、児童館などの施設が充実しています。また、活気あふれる勝川駅前通商店街では、勝川弘法市などの賑やかなイベントが定期的に行われています。

### 名鉄味美駅



駅舎のリニューアルで  
利便性が向上

名古屋市営地下鉄平安通駅へ  
乗り換えなしでわずか7分

駅舎をリニューアルしバリアフリー化したほか、駅前広場や駐輪場を新たに設置したことで、利便性と安全性が更に向上しました。また、県営名古屋空港や大型商業施設が身近にあり、日々の暮らしにも利便性が高い駅です。名古屋市営地下鉄平安通駅までは乗り換えなしで約7分で到着します。

### JR春日井駅



多くの人々が行き交う  
暮らしやすさの中心

市役所や図書館への玄関口  
物販イベントで賑わい創出

市役所や図書館などの公共施設が集積する春日井市の中心駅。駅舎をリニューアルし、南北の自由通路を整備。「えきなかSTAND」などの物販イベントが定期的に行われています。駅南口では再開発が行われ、コンビニエンスストアや子育て支援施設も入る商業棟がオープンしました。

### JR神領駅



駅を中心に  
住宅地が発展

区画整理により広がる  
綺麗な街並み

区画整理によって駅周辺が商業地や住宅地として発展してきました。南北を結ぶ自由通路が整備されるなど利便性が向上し、駅自体の利用者も大幅に増加しています。市内唯一の総合大学「中部大学」へのバスの発着場所にもなっていることから、大勢の学生が利用する賑やかで活気あふれる駅です。

# 鉄道駅

JR中央本線5駅、名鉄小牧線4駅、TKJ城北線2駅があり、名古屋や豊田方面への通勤、通学に便利です。駅舎や駅周辺のリニューアルが進み、利便性がさらに向上しています。

### 市民講座・短期講座

学ぶ楽しさ、つくる喜び、  
仲間とともに

親子でふれあう体操教室、パン作り教室、シニア向けIT講座等、公民館やふれあいセンターでは、生活に役立つ実用的な講座から、趣味の幅を広げる教養講座まで、幅広い世代に向けたさまざまな講座を開催。働く世代や子育て世代も参加しやすいよう、夜間や休日の講座等も実施しています。また、施設で活動しているグループの成果発表の場として、公民館まつりや芸能発表会なども開催しています。



「楽しい」「好き」が見つかる  
公民館・ふれあいセンター

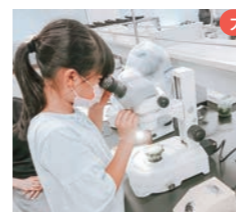


生き生き!!  
シニアライフ

シニアのための学びの場

#### かすがい熟年大学

60歳以上の人を対象に、歴史、文学、芸術文化などのコースに分かれて、幅広く講座を開催しています。



大学の設備を使った体験・実習

#### 大学連携講座

市内の中部大学や名城大学農学部附属農場など近隣の大学と連携して、様々な講座を開催しています。



社会人のための大学

#### 中部大学アクティブアゲインカレッジ (Chubu University Active Again College)

社会人のアクティブな人生を築くための学び場としてCAACがあります。自己の再創造を促し、新たな人生を豊かで明るい未来へ変えていきます。

### 学んだ成果を地域で生かす



得意を生かして!  
「教えたい」気持ちを後押し

#### あなたの企画で講師にチャレンジ

「教える」楽しみや生きがいを感じられるよう、身に付けた知識を生かした市民企画講座を募集し、開催しています。また、生涯学習情報サイト「まなびや選科」では、講師やサークルの情報を提供。教えたい人と学びたい人のマッチングの場となっています。



身近な場所で学ぶ

#### 出前講座

市民に身近な地域の集会所施設などへ、市の職員や生涯学習情報サイト登録講師を派遣しています。

# 生涯学習

いつでも、どこでも、だれとでも、学びの楽しさをすべての人に。人生100年時代。学びは、自分の可能性を見つける第一歩です。市民が主体的に、生き生きと学習活動に取り組めるよう支援しています。

## グルッポふじとう

年間約40万人が訪れる人気の複合施設

屋内には図書館、児童館※、コミュニティカフェ、地域包括支援センターが、屋外には遊具広場、芝生広場などがある複合施設。幅広い年代の方が利用しています。また、定期的にイベントも開催。市内外から年間約40万人もの方が訪れる大人気の施設です。 ※5ページ参照。

所在地 藤山台1丁目1番地

子どもから高齢者まで

楽しみ方いろいろ



図書館



コミュニティカフェ



地域包括支援センター



イベント

アクセス良好で利便性バツグン

### 高蔵寺駅

多くの人で賑わう高蔵寺の玄関口

名古屋へ行くにも、豊田へ行くにもアクセス性の高い便利な駅。地下道や南口のリニューアルが完了し、現在、北口の再整備の検討が進んでいます。北口では賑わい創出イベント「KOZOJI PLAT」が高蔵寺まちづくり㈱によって行われています。



新時代の送迎サービス

### 石尾台おでかけサービス

地域住民の大切な足として運行中

名古屋大学との共同研究で生まれた地域主体の送迎サービス。石尾台地区の町内会・地区社協・老人クラブ・民生委員などの有志で「NPO法人石尾台おでかけサービス協議会」を設立し、電動カートで地域住民のラストマイルの日常の移動を支えています。



UR都市機構との連携事業

### 高森台団地再生

住民が健康に暮らせる新たなまちづくり

UR都市機構の団地再生と連携し、生活利便施設や戸建て住宅を誘導するなど、健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かに暮らせる都市モデルの構築をめざします。



アクティブライフの体感を

### 自転車を活用した取組

キナンレーシングチームと連携し、高蔵寺ニュータウンの新たな魅力づくりを進めます。



豊かな緑があふれ  
開放感のあるまち並み

高蔵寺、Reニューします。

ReNEW部  
KOZOJI

高蔵寺ニュータウン  
公式Instagram



## 都市と自然がちょうどいいまち 「リ・ニュータウン」の取組が進んでいます

春日井市の東部に位置する「高蔵寺ニュータウン」は、まちびらきから約55年の歴史を有するまちです。玄関口は市内最大の乗降客が利用するJR高蔵寺駅。その北部にUR賃貸住宅や戸建て住宅などの住宅地が広がり、約4万人の市民が暮らしています。まちの中央

には多くの商業施設が並び、市民の生活を支えています。

「持続可能なまち」であり続けるために、市では新たなまちづくりの指針「高蔵寺リ・ニュータウン計画」を策定。さまざまなプロジェクトを進めています。

新たなまちづくり進行中!

# 高蔵寺ニュータウン

日本三大ニュータウンの一つである「高蔵寺ニュータウン」。約55年の歴史の中で培ってきた既存資産を大切にしながら、新たなまちづくりが進んでいます。

# 春日井市 年表

● 1943年(昭和18年) 軍需都市として勝川町・鷹来村・篠木村・鳥居松村の4か町村が合併し、**6月1日に市制施行**  
市役所仮庁舎を現旭町に設置  
(元東春日井郡役所を借用)

1940

● 1944年(昭和19年) 市庁舎を現鳥居松町に移転  
● 1948年(昭和23年) 市庁舎を旧鳥居松工廠内に移転  
● 1953年(昭和28年) 人口が5万人を突破

1950



市庁舎 昭和35年

● 1973年(昭和48年) 市の花に「さくら」を選定  
● 1974年(昭和49年) 人口が20万人を突破  
● 1978年(昭和53年) 「春日井市民の誓い」を制定

1960

● 1958年(昭和33年) 東春日井郡高蔵寺町と同坂下町が市に合併

● 1960年(昭和35年) 市役所庁舎が鳥居松町5に完成  
● 1962年(昭和37年) 「交通安全都市」を宣言  
● 1963年(昭和38年) 人口が10万人を突破  
「明るい選挙都市」を宣言

● 1966年(昭和41年) 「明るく育つ青少年都市」を宣言

● 1967年(昭和42年) 「緑化都市」を宣言

● 1968年(昭和43年) 高蔵寺ニュータウン第1次入居開始(1,510戸)  
市の木に「けやき」を選定

● 1969年(昭和44年) 人口が15万人を突破



高蔵寺ニュータウン 昭和46年当時

● 1982年(昭和57年) 人口25万人を突破  
● 1989年(平成元年) 落合公園が「日本の都市公園100選」に選定

1970

1980

● 1990年(平成2年) 「健康都市」を宣言  
新市庁舎オープン

1990

● 2001年(平成13年) 特例市へ移行  
「環境都市」を宣言

2000

● 2005年(平成17年) 人口が30万人を突破



現市庁舎

2010

● 2021年(令和3年) 「ゼロカーボンシティかすがい」を宣言

2020

● 2023年(令和5年) 6月1日に市制80周年

● 2014年(平成26年) 自動車の「春日井ナンバー」導入

● 2015年(平成27年) 「平和都市」を宣言

● 2016年(平成28年) 「子はかすがい、子育ては春日井」を宣言

● 2017年(平成29年) 「文化・スポーツ都市」を宣言

● 2018年(平成30年) 自動車等の「図柄入り春日井ナンバー」導入

## 市長あいさつ

春日井市は、これまで先人の皆様方のたゆみない努力により築かれた快適な都市基盤を礎として、暮らしの魅力を高め、豊かなまちへと着実に発展してまいりました。

私は、2022年(令和4年)5月から第22代春日井市長として、市政を預かることになりました。市政の発展に向け、さらに輝きが増すように、柔軟な発想と創造力を持って、信義誠実に取り組んでいく決意です。

今日を生きる人々が元気でいられるように、明日を生きる人々がいきいきと過ごすことができるように、「命と暮らしを守り、幸せを創る」、私自身がその先頭に立ち、新たな時代のまちづくりを進めてまいります。



春日井市長  
石黒直樹



— あなたのつながりが見つかりますように。 —



春日井市

2023年(令和5年)3月

発行/春日井市 〒486-8686 春日井市鳥居松町5丁目44番地  
電話(0568)81-5111(代表)

編集/企画政策部 企画政策課 シティプロモーション推進室



ユニバーサルデザイン(UD)に  
基づいた見やすいデザインの文字  
を採用しています。

【表紙画像提供】春日井商工会議所青年部